

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerの使い方

Y.Saito

目次

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

- 1 はじめに
- 2 **beamer** の使い方
 - 使い方
 - 日本語を使う場合
- 3 静的コマンド
 - タイトルページ・目次ページ
 - ブロック表示
 - 定理表示
- 4 動的コマンド
 - オーバーレイ機能
 - onslide コマンド
 - pause コマンド
- 5 リンク制御
 - ボタン表示
 - リンクコマンド
- 6 参考文献

はじめに

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

このスライドは **Tex** を使用してスライドを作成するソフトウェア **beamer** の使い方について基本的な部分をまとめたものである。このスライド自体も **beamer** によって作成されている。資料には主に参考文献 [1] と [2] を使用しており、[1] ではプリアンブル部分と **beamer** のコマンドについて、[2] ではオーバーレイについて詳しく載っている。

はじめに : beamer の特徴

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamer は \LaTeX のソフトウェアで、次のような特徴がある。

- \TeX のコマンドがそのまま使用できる

例 1 `<itemize>` で箇条書き

例 2 数式モードを使って行列 $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ を記述

- プレゼン用のコマンドを使用できる

はじめに : beamer の特徴

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamer は \LaTeX のソフトウェアで、次のような特徴がある。

- \TeX のコマンドがそのまま使用できる

例 1 `<itemize>` で箇条書き

例 2 数式モードを使って行列 $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ を記述

- プレゼン用のコマンドを使用できる

例 `<onslide>` コマンドで表示タイミングを変更、
強調効果もつけられる！

はじめに : beamer の特徴

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamer は \LaTeX のソフトウェアで、次のような特徴がある。

- \TeX のコマンドがそのまま使用できる

例 1 `<itemize>` で箇条書き

例 2 数式モードを使って行列 $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ を記述

- プレゼン用のコマンドを使用できる

例 `<onslide>` コマンドで表示タイミングを変更、
強調効果もつけられる！

はじめに : beamer の特徴

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamer は $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ のソフトウェアで、次のような特徴がある。

- TeX のコマンドがそのまま使用できる

例 1 `<itemize>` で箇条書き

例 2 数式モードを使って行列 $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ を記述

- プレゼン用のコマンドを使用できる

例 `<onslide>` コマンドで表示タイミングを変更、
強調効果もつけられる！

⇒ TeX で文書を少しいじるだけでスライドを作成することができる！

beamer の使い方

最新の Tex ならば **beamer** も同時にインストールされているはずなのですぐに使用できる。そうでない場合は **beamer** をインストールする必要がある。(ここでは割愛。)

サンプルファイルは下のようになり、pdflatex.exe でコンパイルし pdf を作成する。

サンプルファイル 1

```
\documentclass{beamer}
\begin{document}
  \begin{frame}
    \frametitle{frametitle}
    text
  \end{frame}
\end{document}
```

しかし、日本語を入力すると文字化けをおこしてしまうため日本語を使用する場合にはオプションを追加する必要がある。

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamer での日本語の使い方

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

オプションの追加は次のサンプルファイルのように行う。この場合、`platex.exe` で `dvi` にしてから、`dvipdfm.exe` で `dvi` ファイルをコンパイルし `pdf` を作成する。

サンプルファイル 2

```
\documentclass[dvipdfm]{beamer}
\begin{document}
  \begin{frame}{フレームタイトル}
    \frametitle
    テキスト
  \end{frame}
\end{document}
```

あとはサンプルファイル内の `\begin{frame}` ~ `\end{frame}` をつなげていくことで複数枚からなるスライドが作成できる

静的コマンド：タイトル・目次について

- タイトルページは `<titlepage>` を使用して作成する。

タイトルページを作成する

```
\begin{frame}  
  \titlepage  
\end{frame}
```

- 目次ページは `<tableofcontents>` により `<section>` を参照し作成する。

目次ページを作成する

```
\section{ 1 章 } \section{ 2 章 }  
\begin{frame}  
  \frametitle  
  \tableofcontents  
\end{frame}
```

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

静的コマンド：ブロック表示について

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

- ブロック強調表示は `<block>` を使用して作成する。

ブロックで表示する

```
\begin{block}{ブロックタイトル}  
  ブロック内テキスト  
\end{block}
```

↓ 出力結果 ↓

ブロックタイトル

ブロック内テキスト

静的コマンド：定理表示について

- 定理等は <theorem> 等を TeX と同様に使用して作成する。

定義で表示する

```
\begin{definition} [\cite{KTY01}]  
  For some given symbols,  
  \[ \{\rm I\}^{(1)}_{k,V'} :=  
  \inf \{ t \in \mathbb{R} \mid V \leq \hat{\varphi}^{(1)}_{-C}(tk+V') \} . \]  
\end{definition}
```

↓ 出力結果 ↓

Definition ([3])

For some given symbols,

$$I_{k,V'}^{(1)} := \inf \{ t \in \mathbb{R} \mid V \leq \hat{\varphi}_C^{(1)}(tk + V') \}$$

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

動的コマンド：オーバーレイ機能

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

オーバーレイとは“覆うもの”といった意味である。

テキストを覆い隠しておいて、順に1つずつ公開していく様子を指している。

順番を管理する内部変数は `beamerpauses` で、その値はフレーム毎に管理されている。

下に現在の `beamerpauses` の値を表示させてみる。

ページ送り・戻りで数値が増減することがわかる。

`beamerpauses = 1 / 5`

▶ 次のページへ

動的コマンド：オーバーレイ機能

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

オーバーレイとは“覆うもの”といった意味である。

テキストを覆い隠しておいて、順に1つずつ公開していく様子を指している。

順番を管理する内部変数は `beamerpauses` で、その値はフレーム毎に管理されている。

下に現在の `beamerpauses` の値を表示させてみる。

ページ送り・戻りで数値が増減することがわかる。

`beamerpauses = 2 / 5`

▶ 次のページへ

動的コマンド：オーバーレイ機能

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

オーバーレイとは“覆うもの”といった意味である。
テキストを覆い隠しておいて、順に1つずつ公開していく様
を指している。
順番を管理する内部変数は `beamerpauses` で、その値はフレー
ム毎に管理されている。
下に現在の `beamerpauses` の値を表示させてみる。
ページ送り・戻りで数値が増減することがわかる。

`beamerpauses = 3 / 5`

▶ 次のページへ

動的コマンド：オーバーレイ機能

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

オーバーレイとは“覆うもの”といった意味である。

テキストを覆い隠しておいて、順に1つずつ公開していく様子を指している。

順番を管理する内部変数は `beamerpauses` で、その値はフレーム毎に管理されている。

下に現在の `beamerpauses` の値を表示させてみる。

ページ送り・戻りで数値が増減することがわかる。

`beamerpauses = 4 / 5`

▶ 次のページへ

動的コマンド：オーバーレイ機能

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

オーバーレイとは“覆うもの”といった意味である。

テキストを覆い隠しておいて、順に1つずつ公開していく様子を指している。

順番を管理する内部変数は `beamerpauses` で、その値はフレーム毎に管理されている。

下に現在の `beamerpauses` の値を表示させてみる。

ページ送り・戻りで数値が増減することがわかる。

`beamerpauses = 5 / 5`

▶ 次のページへ

動的コマンド：オーバーレイ用コマンド

オーバーレイの機能を使ってテキストの表示を管理する際には `<onslide>` コマンドを使用する。

onslide

`\onslide<2->{\$1+\$}` % 値が2以上で1+を表示

`\onslide+<3->{\$1=\$}` % 表示スペースを確保するオプション

`\onslide*<4->{\$2\$}` % 表示スペースを確保しないオプションです。

↓ 出力結果 ↓
です。

また、表示する値は-（ハイフン）で範囲指定、,（カンマ）で論理式 or 指定ができる。

`beamerpauses = 1 / 4` [▶ 次のページへ](#)

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

動的コマンド：オーバーレイ用コマンド

オーバーレイの機能を使ってテキストの表示を管理する際には `<onslide>` コマンドを使用する。

onslide

`\onslide<2->{\$1+\$}` % 値が2以上で1+を表示

`\onslide+<3->{\$1=\$}` % 表示スペースを確保するオプション

`\onslide*<4->{\$2\$}` % 表示スペースを確保しないオプションです。

↓ 出力結果 ↓

1+ です。

また、表示する値は-（ハイフン）で範囲指定、,（カンマ）で論理式 or 指定ができる。

beamerpauses = 2 / 4 [▶ 次のページへ](#)

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

動的コマンド：オーバーレイ用コマンド

オーバーレイの機能を使ってテキストの表示を管理する際には `<onslide>` コマンドを使用する。

onslide

`\onslide<2->{\$1+\$}` % 値が2以上で1+を表示

`\onslide+<3->{\$1=\$}` % 表示スペースを確保するオプション

`\onslide*<4->{\$2\$}` % 表示スペースを確保しないオプションです。

↓ 出力結果 ↓

$1 + 1 =$ です。

また、表示する値は-（ハイフン）で範囲指定、,（カンマ）で論理式 or 指定ができる。

`beamerpauses = 3 / 4` [▶ 次のページへ](#)

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

動的コマンド：オーバーレイ用コマンド

オーバーレイの機能を使ってテキストの表示を管理する際には `<onslide>` コマンドを使用する。

onslide

`\onslide<2->{\$1+\$}` % 値が2以上で1+を表示

`\onslide+<3->{\$1=\$}` % 表示スペースを確保するオプション

`\onslide*<4->{\$2\$}` % 表示スペースを確保しないオプションです。

↓ 出力結果 ↓

1+ 1 = 2 です。

また、表示する値は-（ハイフン）で範囲指定、,（カンマ）で論理式 or 指定ができる。

beamerpauses = 4 / 4 [▶ 次のページへ](#)

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

動的コマンド：オーバーレイ用コマンド

また、`<itemize>` 下では `<pause>` コマンドを使用する機会が多い。

pause

```
\begin{itemize} \item  $\langle \$onslide\$ \rangle$  も  $\langle \$pause\$ \rangle$  も参照している変数は同じ \pause
```

```
\item  $\langle \$onslide\$ \rangle$  でテキストを入力しなかった場合と同じ挙動である \end{itemize}
```

↓ 出力結果 ↓

- `<onslide>` も `<pause>` も参照している変数は同じ

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

動的コマンド：オーバーレイ用コマンド

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

また、`<itemize>` 下では `<pause>` コマンドを使用する 경우가
多い。

pause

```
\begin{itemize} \item  $\langle \$onslide \$ \rangle$  も  $\langle \$pause \$ \rangle$  も参照  
している変数は同じ \pause
```

```
\item  $\langle \$onslide \$ \rangle$  でテキストを入力しなかった場合と同じ  
挙動である \end{itemize}
```

↓ 出力結果 ↓

- `<onslide>` も `<pause>` も参照している変数は同じ
- `<onslide>` でテキストを入力しなかった場合と同じ挙動
になる

また、この文章が表示されていることからオーバーレイは
`<itemize>` 内で完結していることがわかる。

リンク制御：ボタン

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

ボタン表示

```
\beamerbutton{text}  
\beamergetobutton{  
\beamerreturnbutton{}
```

↓ 出力結果 ↓

text ▶ ◀

これはただの表示形式の1つであり、クリックオブジェクトにするためには次のハイパーリンクコマンドを使う必要がある。

リンク制御：ハイパーリンク

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

ハイパーリンク

```
ターゲットへ移動する：\hyperlink<overlay specifivation>{  
ターゲット }{ テキスト } {target name}{\beamerbutton{ ター  
ゲットへ }}
```

次のスライドへ進む：

```
\hyperlinkslidenext{\beamerbutton{}}
```

前のスライドへ戻る：

```
\hyperlinkslideprev{\beamerreturnbutton{}}
```

```
スライドを再表示させる：\againframe{target name}
```

↓進む・戻るの出力結果↓



リンク先にターゲットを指定する場合はターゲット（フレームやカウンター数値）にラベルを貼る必要がある。

リンク制御：ターゲット設定

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

ターゲット設定

frame をターゲットにする：

```
(\begin{frame}[ラベル名]
```

beamerpauses の値をターゲットにする：

```
\hypertarget< 数値 >{ ターゲット名 }{ テキスト }
```

通常の <label> により任意の位置にラベルを付けることも可能。例を以降のスライドで例を示す。

リンク制御：ハイパーリンクの実験1

`beamerpauses` の数値をターゲットにした例リンクコマンドの
スライドにはラベルコマンドによりラベル名：`howtolink` が、
オーバーレイのスライドには `frame` オプションによりラベル
名：`overlay` がそれぞれふってある。
それらへのリンクを貼ってみる。

ハイパーリンク 2

```
\hyperlink{howtolink}{\beamerbutton{リンクコマンドのスラ  
イドへ}} \\  
\hyperlink{overlay}{\beamerbutton{オーバーレイのスライド  
へ}}
```

↓出力結果↓

[リンクコマンドのスライドへ](#)

[オーバーレイのスライドへ](#)

また、`frame` 外で `\againframe{ フレームラベル名 }` を使用す
ると、スライドを再挿入できる。

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例

reset

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

▶

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例



1

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例



2

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例

reset

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

▶

3

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例

reset

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

▶

4

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例

reset

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

▶

5

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例

reset

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

▶

6

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例



7

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例

reset

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

▶

8

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例

reset

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

▶

9

リンク制御：ハイパーリンクの実験2

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

beamerpauses の値をターゲットにした例

reset

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

▶

10

参考文献

beamer の使
い方

Y.Saito

はじめに

beamer の使
い方

使い方

日本語を使う場合

静的コマンド

タイトルページ・目次
ページ

ブロック表示

定理表示

動的コマンド

オーバーレイ機能

onslide コマンド

pause コマンド

リンク制御

ボタン表示

リンクコマンド

参考文献

- [1] 滋賀大学・熊沢吉起先生のページ
<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/sensei/kumazawa/tex/beamer.html>
- [2] 大分工業高等専門学校・辻繁樹先生のページ
http://neurodynamics.jp/etc/beamer/Beamer_manual_1
- [3] I. Kuwano, T. Tanaka and S. Yamada, *Characterization of Nonlinear Scalarizing Functions for Set-Valued Maps*, in *Nonlinear Analysis and Optimization*, S. Akashi, W. Takahashi, and T. Tanaka (eds.), Yokohama Publishers, Yokohama, 2009, pp.193–204.
- [4] K. Kuwano, T. Tanaka and S. Yamada. *Characterization of Nonlinear Scalarizing Functions for Set-Valued Maps*, in *Nonlinear Analysis and Optimization*, S. Akashi, W. Takahashi, and T. Tanaka (eds.), Yokohama Publishers, Yokohama, 2009, pp.193–204.